

側面体型についての一考察(II)

— 女子短大生 —

小 川 キ ヨ 子

Body Types as Viewed from the Side (II)

— Women's Junior College Students —

Kiyoko OGAWA

結 言

前回の調査により被験者（広島文化女子短大生）のおおよその体型傾向を知ることができた。今回は更に例数を増し、49・52・54年の3ケ年に亘る被験者の側面体型を調査したのでその結果を報告する。

被験者と方法

1. 被験者

被験者は広島文化女子短期大学被服学科の学生で、その例数、年齢、生活環境および年齢構成は表1・2・3のとおりである。

表1 被験者の年齢と例数・百分率(49・52・54年)

年齢	例 数			計	%
	49年	52年	54年		
20	1	1		2	1.0
19	32	30	29	91	46.0
18	45	42	18	105	53.0
計(%)	78(39.4)	73(36.9)	47(23.7)	198	100.0

表2 被験者の生活環境・例数・百分率(49・52・54年)

居住地	広 島 県			山 口 県			島 根 県			愛 媛 県			岡 山 県			高 知 県			大 分 県			計	
	49年	52年	54年	49	52	54	49	52	54	49	52	54	49	52	54	49	52	54	49	52	54	例数	%
市 内	11	12	11			1							1						1			37	18.7
周辺都市	24	22	17	9	9	3	2		1						1							88	44.4
郡 部	22	21	11	7	5	2	3		1	1												73	36.9
計	57	55	39	16	15	5	5		2	1			1		1				1			198	100.0
(%)	(28.8)	(27.8)	(19.7)	(8.1)	(7.6)	(2.5)	(2.5)		(1.0)	(0.5)			(0.5)		(0.5)				(0.5)				

表3 9体型別の年齢別例数・百分率(49・52・54年)

9 体型	年 齢 別 例 数									計	
	20 歳			19 歳			18 歳			例数	%
	49年	52年	54年	49年	52年	54年	49年	52年	54年		
AA				5	3	3	10	10	2	33	16.7
AB				6	4	5	7	8	4	34	17.2
AC	1			14	13	10	12	17	5	72	36.4
BA				1	3	2	6	1	3	16	8.1
BB				2	1	1				4	2.0
BC					1		3	1	1	6	3.0
CA				3	3	4	7	2	3	22	11.1
CB				1	1	2		3		7	3.5
CC		1			1	2				4	2.0
計	1	1		32	30	29	45	42	18	198	100.0
(%)	(0.5)	(0.5)		(16.2)	(15.2)	(14.6)	(22.7)	(21.2)	(9.1)		

2. 撮影期

撮影は昭和49年9月・52年9月・54年9月に行った。

3. 実測・撮影方法

実測・撮影方法は〔側面体型についての一考察(I)〕に従った。(広島文化女子短期大学紀要 第15号(25頁—33頁) 1982年)

結果および考察

I 側面体型の分類

被験者の側面体型を49・52・54年, 9体型別に分類すれば表4・図Iのとおりで各年度ともAC体型が最も多く, 全体の36.4%(72例)を示し, 約1/3である。AB体型は17.2%(34例), AA(体型)は16.7%(33例)で両者とも1/6である。CA体型は11.1%(22例)で1/9, BA体型は8.1%(16例)で約1/12である。

側面体型を後ろ・前側面にわけて各体型別(A体型・B体型・C体型)に分類すると表5・図2・図3のとおりである。後ろ側面はA体型が70.3%(139例)で最も多く, 次はC体型16.6%(33例), B体型は13.1%(26例)でやや少ない。

前側面はC体型が41.4%(82例)で最も多く, 次はA体型35.9%(71例), B体型は22.7%(45例)でやや少ない。

各年度別に例数の多い順から並べると, 後ろ側面では49年度はA>B>Cの順で, 52年はA>C>B, 54年もA>C>Bの順である。

前側面では49年度はA>C>Bの順で52年はC>A>B, 54年もC>A>Bの順である。

3か年を通してみると, 後ろ側面ではA>C>B, 前側面ではC>A>Bの順がそれぞれ2/3の割合を占めている。

表4 側面体型の年度・9体型別例数百分率(49・52・54年)

9 体型	49 年		52 年		54 年		計	%
	例数	%	例数	%	例数	%		
AA	15	19.2	13	17.8	5	10.6	33	16.7
AB	13	16.7	12	16.4	9	19.2	34	17.2
AC	27	34.6	30	41.1	15	31.9	72	36.4
BA	7	9.0	4	5.4	5	10.6	16	8.1
BB	2	2.6	1	1.4	1	2.1	4	2.0
BC	3	3.8	2	2.8	1	2.1	6	3.0
CA	10	12.8	5	6.8	7	14.9	22	11.1
CB	1	1.3	4	5.5	2	4.3	7	3.5
CC	0	0	2	2.8	2	4.3	4	2.0
計(%)	78(39.4)	100.0	73(36.9)	100.0	47(23.7)	100.0	198	100.0

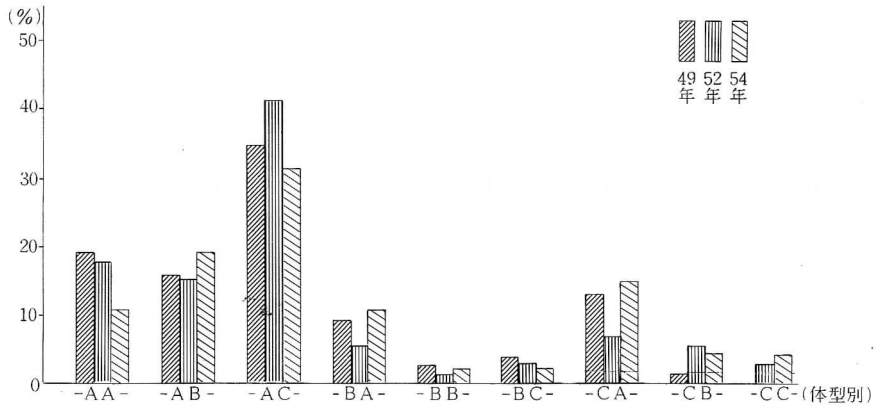
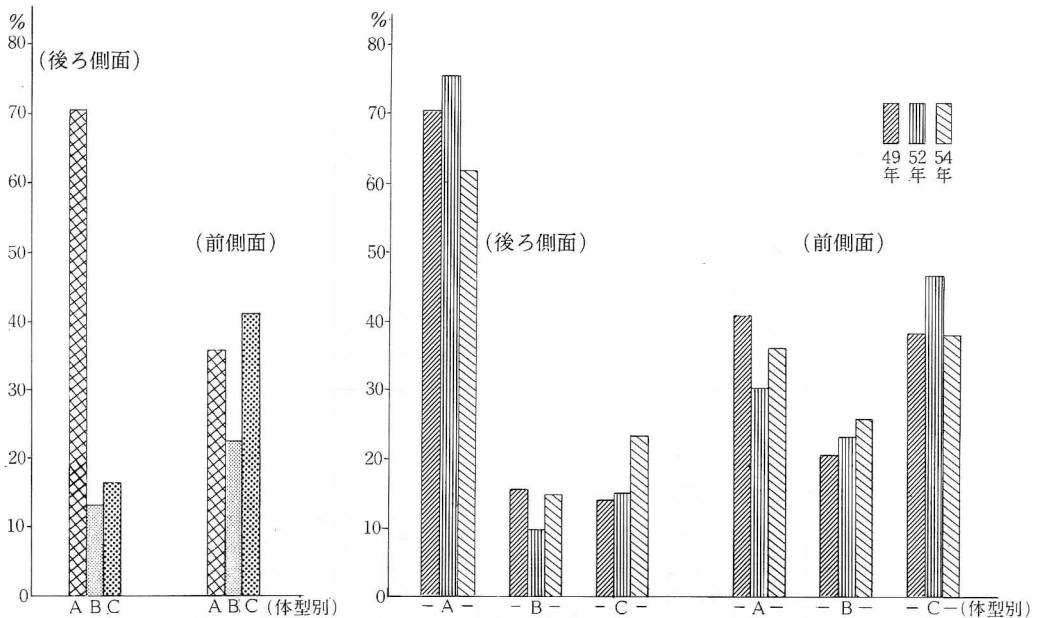


図1 側面体型の年度・9 体型別例数百分率 (49・52・54年)

表5 後ろ・前側面体型別例数百分率(49・52・54年)

体 型	後 ろ 側 面						計 %		前 側 面						計 %	
	49 年		52 年		54 年				49 年		52 年		54 年			
	例数	%	例数	%	例数	%			例数	%	例数	%	例数	%		
A	55	70.5	55	75.3	29	61.7	139	70.3	32	41.0	22	30.1	17	36.1	71	35.9
B	12	15.4	7	9.7	7	14.9	26	13.1	16	20.6	17	23.3	12	25.6	45	22.7
C	11	14.1	11	15.0	11	23.4	33	16.6	30	38.4	34	46.6	18	38.3	82	41.4
計	78	100.0	73	100.0	47	100.0	198	100.0	78	100.0	73	100.0	47	100.0	198	100.0

図2 後ろ・前側面別
A・B・C 体型別例数百分率
(49・52・54年)図3 年度別後ろ・前側面別
A・B・C 体型別例数百分率 (49・52・54年)

II 側面体型の引っ込み寸法について

後ろ・前側面体型引っ込み寸法平均値・例数・百分率の分布は表6・図4のとおりである。

引っ込み寸法の平均値は $A_{2.2}A_{1.1} \cdot A_{1.8}B \cdot A_{2.4}C_{1.7} \cdot B \cdot A_{1.3} \cdot B \cdot B \cdot C_{1.3} \cdot C_{1.7}A_{1.7} \cdot C_{1.4}B \cdot C_{1.8}C_{1.0}$ で、B体型は引っ込み寸法0cmである。後ろ・前とも引っ込み寸法の最も大きいのはAC体型、

小さいのはBA・BC体型で、BB体型は後ろ・前側面ともに0cmである。

なお引っ込み寸法の分布範囲は後ろ側面は0～7.0cm、前側面は0～4.5cmまでである。後ろ側面では0～3.0cmまでが86.0% (170例) で、そのうち0～1.0cmまでが最も多く39.4% (78例) である。前側面では0～3.0cmまでが97.0% (192例) で最も多いのは0～1.

表6 9体型別後ろ・前側面引っ込み寸法平均値(49・52・54年) (cm)

9 体型	例数	引 っ 込 み 寸 法						平均値	
		49 年		52 年		54 年		49・52・54年	
		後ろ	前	後ろ	前	後ろ	前	後ろ	前
AA	33	1.7	1.2	2.0	1.0	4.2	1.1	2.2	1.1
AB	34	1.7		1.5		2.4		1.8	
AC	72	2.5	1.7	2.4	1.6	2.3	1.9	2.4	1.7
BA	16		1.2		1.2		1.5		1.3
BB	4								
BC	6		1.3		1.0		2.0		1.3
CA	22	1.5	1.9	2.2	1.3	1.7	1.6	1.7	1.7
CB	7	1.0		1.3		1.8		1.4	
CC	4			1.8	1.0	1.8	0.9	1.8	1.0

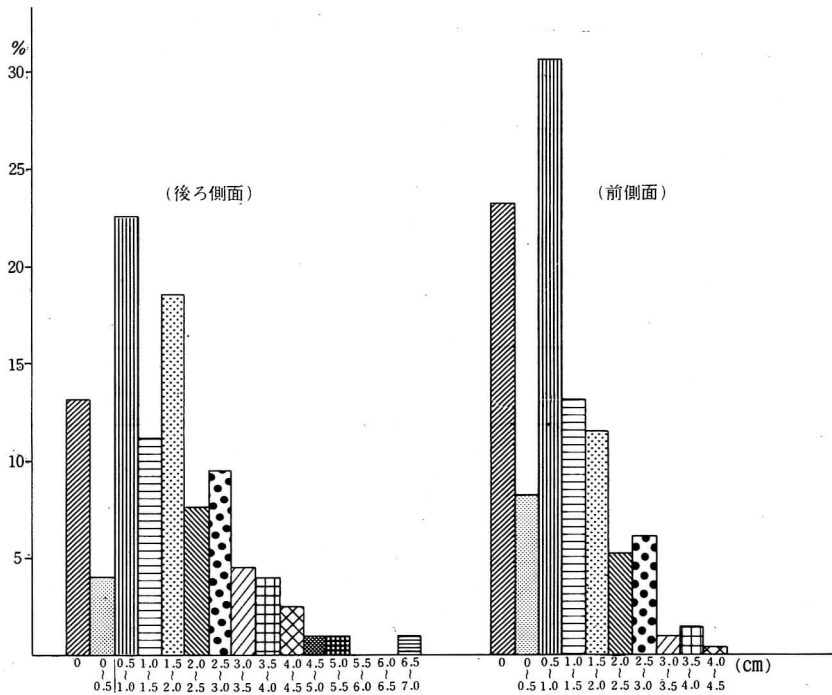


図4 後ろ・前側面引っ込み寸法例数百分率の分布(49・52・54年)

0cmまでの61.1% (121例) である。

次に側面体型の引っ込み寸法を体型別にみれば図5-1(1)・(2)・(3)・(4)のとおりである。

図5-1(1) AA体型の平均値は $A_{2.2}A_{1.1}$ で引っ込み寸法の分布範囲は、後ろ側面は0~7.0cm、前側面は0~3.0cmである。分布の多いのは後ろ側面の1.5~2.0cmまでで30.3% (10例)、前側面は0.5~1.0cmまでの63.5% (21例) である。

図5-1(2) AB体型の平均値は $A_{1.8}B$ で、引っ込み寸法の分布範囲は、後ろ側面は0~5.0cm、前側面は0~0.5cmである。分布の多いのは後ろ側面の0.5~1.0cm・1.5~2.0cmでいずれも29.4% (10例)、前側面は0~0.5cm (B体型では引っ込み寸法は0cmである) までで100% (34例) である。

図5-1(3) AC体型の平均値は $A_{2.4}C_{1.7}$ で、引っ込み寸法の分布範囲は後ろ側面は0~5.5cm、前側面は0~4.5cmである。分布の多いのは後ろ側面は0.5~1.0cm・2.5~3.0cmまででいずれも20.8% (15例)、前側面は0.5~1.5cmまでの51.3% (37例) である。

(前側面)		cm	0.5	計	%
(後ろ側面)	0	○	3	8.8	
	0.5	○	10	29.4	
	1.0	○	3	8.8	
	1.5	○	10	29.4	
	2.0	○	4	11.9	
	2.5	○	1	2.9	
	3.0				
	3.5				
	4.0	○	2	5.9	
	4.5	○	1	2.9	
計			34	34	
%			100.0	100.0	

○印…49年
◎印…52年
●印…54年

注 (前側面) 0~0.5間の34例は全員0cmである。

図5-1(2) AB体型引っ込み寸法の
例数分布・百分率

(前側面)		cm	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	計	%
(後ろ側面)	0								1	3.0
	0.5	○	○						6	18.2
	1.0	○	○						5	15.2
	1.5	○	○						10	30.3
	2.0	○	○						4	12.1
	2.5		○						3	9.0
	3.0								2	6.1
	3.5									
	4.0									
	4.5									
計			5	21	2	2	2	1	33	
%			15.2	63.5	6.1	6.1	6.1	3.0	100.0	

○印…49年
◎印…52年
●印…54年

図5-1(1) AA体型引っ込み寸法の
例数分布・百分率

(前側面)		cm	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	計	%
(後ろ側面)	0	○										1	1.4
	0.5	○	○									15	20.8
	1.0	○	○	○								7	9.7
	1.5	○	○	○	○							13	18.1
	2.0	○	○	○	○							5	6.9
	2.5	○	○	○	○	○						15	20.8
	3.0	○	○			○						4	5.6
	3.5	○	○			○						6	8.3
	4.0	○										3	4.2
	4.5											1	1.4
計			6	19	18	11	2	10	2	3	1	72	
%			8.3	26.3	25.0	15.3	2.8	13.9	2.8	4.2	1.4	100.0	

○印…49年
◎印…52年
●印…54年

図5-1(3) AC体型引っ込み寸法の
例数分布・百分率

図5-(4) CA体型の平均値は $C_{1.7}A_{1.7}$ で、引込み寸法の分布範囲は後ろ側面は0~4.0cm, 前側面は0~3.0cmである。分布の多いのは後ろ側面は0.5~1.0cmまでで36.3%(8例), 前側面は0.5~1.0cm・1.0~1.5cm・2.5~3.0cmまでで、いずれも22.7%(5例)である。

その他の体型については例数が少ないので略す。

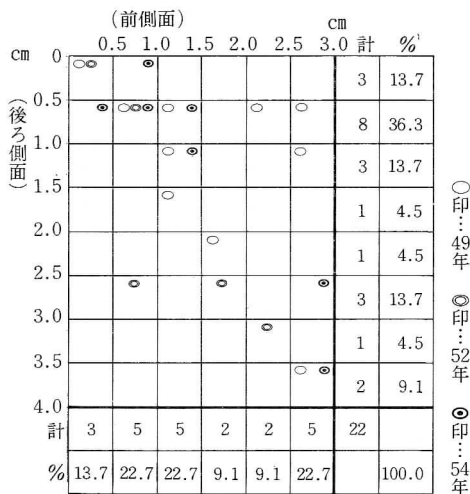


図5-(4) CA体型引込み寸法の例数分布・百分率

III 9体型別の身長・胸囲・胴囲・腰囲・体重・ローレル指数

9体型別の測定平均値およびローレル指数, 並びに9体型別身長・胸囲・胴囲・腰囲・体重の比較は表7・図6のとおりである。9体型平均値はAC体型の胸囲・胴囲・腰囲・体重がかなり大である。

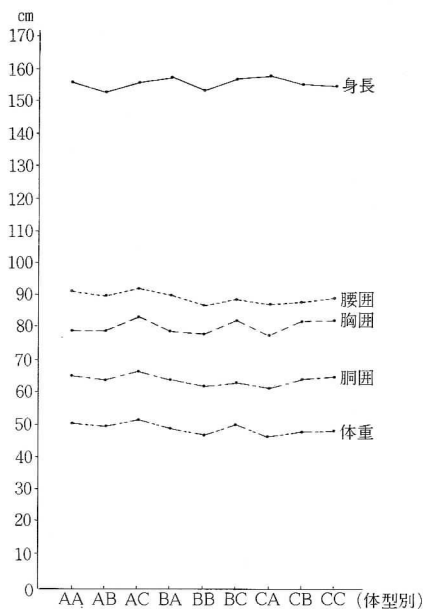


図6 9体型別身長・胸囲・胴囲・腰囲・体重比較(49・52・54年)

表7 9体型別の測定平均値およびローレル指数(49・52・54年)

9 体型	例数	身長	胸囲	胴囲	腰囲	体重kg	ローレル指数
$A_{2.2}A_{1.1}$	33	156.1	79.6	65.5	91.2	50.5	1.31
$A_{1.8}B$	34	153.7	79.9	64.1	90.2	50.0	1.33
$A_{2.4}C_{1.7}$	72	156.7	83.9	66.7	92.6	51.9	1.35
$B A_{1.3}$	16	158.0	79.8	64.9	90.3	49.2	1.23
$B B$	4	153.9	78.9	62.4	87.9	47.3	1.35
$B C_{1.3}$	6	157.5	82.8	63.8	89.1	50.5	1.29
$C_{1.7}A_{1.7}$	22	158.1	78.1	62.0	87.9	47.1	1.19
$C_{1.4}B$	7	155.9	82.2	64.9	88.8	48.5	1.27
$C_{1.8}C_{1.0}$	4	155.5	83.2	65.4	90.0	49.0	1.30
M(SD)		156.3(4.9)	81.3(4.0)	65.1(4.2)	90.9(4.5)	50.3(5.1)	1.29(0.44)

注1. 身長・体重は実測値

2. 胸・胴・腰囲はシルエット採寸値

3. ローレル指数は計算値

4. 9体型に付記されている寸法は引込み寸法

また、9体型別ローレル指数区分による例数分布・百分率は表8のとおりである。ローレル指数区分の分布は、普通が70.7% (140例) で最も多く、次に肥満が11.6% (23例)、細長7.5% (15例)、過細長、過肥満はそれぞれ5.1% (10例) である。

ローレル指数についてみるとAC体型には肥満が7.

1% (14例)、過肥満も2.5% (5例) で多い。AA体型には肥満が2.0% (4例)・AB体型にも1.5% (3例) である。CA体型には細長1.0% (2例)、過細長2.0% (4例) あり他よりかなり小である。細長、過細長はBC・CC体型の皆無をのぞき他体型に0.5~3.0% (1~6例) ある。

表8 9体型別ローレル指数による例数分布・百分率 (49・52・54年)

9 体型	ロ ー レ ル 指 数 区 分					計	
	過細長	細 長	普 通	肥 満	過肥満	例数	%
A _{2.2} A _{1.1}	3		23	4	3	33	16.7
A _{1.8} B		2	27	3	2	34	17.2
A _{2.4} C _{1.7}	1	6	46	14	5	72	36.4
B A _{1.3}	1	3	12			16	8.1
B B		1	2	1		4	2.0
B C _{1.3}			6			6	3.0
C _{1.7} A _{1.7}	4	2	16			22	11.1
C _{1.4} B	1	1	4	1		7	3.5
C _{1.8} C _{1.0}			4			4	2.0
計 (%)	10(5.1)	15(7.5)	140(70.7)	23(11.6)	10(5.1)	198	100.0

要 約

被験者は前回報告の49年 (78例)と52年(73例)54年 (47例) をあわせて198例である。

側面体型を9体型に分類すると各年度ともAC体型が最も多く36.4% (72例)、次はAB体型17.2% (34例)、AA体型16.7% (33例)、CA体型11.1% (22例)、BA体型8.1% (16例) である。CB・BC・BB・CC体型は3.5~2.0%でBB・CC体型ともに2.0% (4例) で僅かである。

このうち後ろ・前側面ともに同体型のものが20.7% (41例) で、79.3% (157例) はA, B, C体型のうち異った2種類をくみ合わせた体型のものである。

また、後ろ・前側面を体型別にみると、後ろ側面はA体型が70.3% (139例) で最も多く、少ないのはB体型で13.1% (26例) である。前側面はC体型が41.4% (82例) で最も多く、少ないのはB体型で22.7% (45例) である。

引っ込み寸法の平均値は大きいのがA_{2.4}C_{1.7}・A_{2.2}A_{1.1}、小さいのがBB、次いでBA_{1.3}、BC_{1.3}、体型である。

引っ込み寸法の分布をみる。

後ろ側面は0~7.0cm, 前側面は0~4.5cmの範囲に分布し、後ろ側面では0~3.0cmまでが86.0% (170例)

で、そのうち0~1.0cmまでが最も多く39.4% (78例) である。前側面は0~3.0cmまでが97.0% (192例) で最も多いのは0~1.0cmまでの61.1% (121例) である。

被験者の身体各部の測定値をみると、9体型平均値はAC体型が身長をのぞきかなり大である。

ローレル指数をみると普通体型が、9体型とも多く70.7% (140例) を示し肥満、過肥満は少なく、AA・AB・AC体型に16.7% (33例) 分布している。細長、過細長はBC・CCをのぞいた他の7体型に12.6% (25例) 分布して僅かである。

今回の調査により被験者 (198例) のうち81.3% (161例) はAA (16.7%33例)・AB (17.2%34例)・AC (36.4%72例)・CA (11.1%22例) 体型に属し被服製作上なんらかの補正を必要とする体型であるとみなされる。今後さらに回を重ねて個々の体型と引っ込み寸法ならびに補正分量とのかかわりを検討して作図上の参考資料にしたいものと考えている。

終りに、本研究を行うにあたり前回よりひきつづき終始ご懇切なるご指導とご助言を賜りました本学藤田光子教授に深く感謝の意を表します。

参 考 文 献

- 1) 小川キヨ子 側面体型についての一考察(1) 一女子短大生— 広島文化女子短期大学紀要 1982 第15号 pp.25—33

Summary

The 198 subjects in the present study are made up of the 73 and 47 students measured in 1977 and 1979 respectively, and of the 78 students who were measured in 1974 and dealt with in our previous paper.

1. Seen by the nine body types, it was found that AC came first in number 36.4% (72 examples), then came AB 17.2% (34 examples), AA 16.7% (33 examples), CA (11.1% (22 examples) and BA 8.1% (16 examples). Body types CB, BC, BB and CC were 3.5~2.0%. BB and CC were as few as 2% (4 examples).
2. An examination into the back and front of the body as viewed from the side revealed that, at the back, 70.3% (139 examples) belonged to A and 13.1% (26 examples) to B, while, at the front, 41.4% (82 examples) belonged to C and 22.7% (45 examples) to B.
3. The measurement means of body concaves were $A_{2.2}$ $A_{1.1}$, $A_{2.4}$ $C_{1.7}$, $C_{1.7}$ $A_{1.7}$ and $C_{1.8}$ $C_{1.0}$ both at the front and back concaves, $A_{1.8}$ B and $C_{1.4}$ B at the back concave and $BA_{1.3}$ and $BC_{1.3}$ at the front concave. BB had no concaves at all.
4. As for the measurements of body concaves, 86.0% came between 0~3.0cm with the maximum of 39.4% between 0~1.0cm, and that, at the front, 97.0% came between 0~3.0cm with the maximum of 61.1% between 0~1.0cm.
5. The measurements of the parts of the body showed that AC had larger values in the means among the nine body types as compared with the general means and that CA was larger in stature, but smaller in the other items as compared with the general means.
6. The Rohrer Index showed that the average body type was the commonest in each of the nine body types 70.7% (140 examples), and that the fat and the excessively fat types were distributed 16.7% (33 examples) among AA, AB and AC. The distributions of the other body types were very small. The slender and the excessively slender body types were distributed 12.6% (25 examples) among the seven body types excluding BB and CC.